



114
A 819
2



秋派才一歩ノ十

馬尼刺及香港派遣才九回報告追加
戦況記事



ガム攻撃件
米國陸兵才一輸送際コリヤナ群島州ニ寄港セシ港内
ニ國旗ヲ揚ケサル一帆船碇泊セルヲ見西國船才ト認メ一
弾ヲ放チシ帆船急ニ日本國旗ヲ掲揚セリト事ケル哉
比弾ハ帆船ニ命中セガリシ又西米開戦事ヲ知テガリ
シト云フ
米國ハ兵百名ヲ一隊トシガムニ上陸セシノ政廳ヲ襲ハ
シメシニ西米開戦ヲ知ラサルヲ以テ戦鬪ノ準備ナク勿ク
ニ白旗ヲ揚ゲ降伏アリ依テ知事ヲ捕シ上陸隊ヲ守
備兵トシテ残シ置キ當港ニ未ダ一談知事ハ今尚割



刊ノ捕虜中ニアリト云フ

七月有記事申白旗揚揚船ノ件

コレバニヤ、ヘネラノ所有船ニシテコレバニヤ、ヒリビナト稱シ談
船ハ其供(港名不明)出港台船員タル西国人ハ業烈
土人ノ為ナニ殺害セシ白旗ヲ國旗ニ位置ニ揚ケカビテ
ニ入港ニタルモノナリト云フ

コレホク(船名)

コレホクハ噸數六百位ニシテ吃水浅ク香港ヨリ廣東附
近ヲ往復セシモノシテ米人コレバニヤ、モノ當マシテ布支
那人保護ノ名義ヲ以テ香港ヲ出發シ當カビテニ連シ
テヨリ、米國旗ヲ揚ケ米兵進攻上陸隊用ニ供スル
物ナリト

コレバニヤ、ト布哇住シ王朝ノ時ハ考少ク資産ヲ有セシ

三共知政府トナリテ、^{コレ}産ミ遂ニ日本移民ノ事ニ関シ
資産ヲ送ラシト謀リシ日本移民禁止ノ議起ツテ、
支那移民ノ事ニ及カシ廈門ニ渡航セシ今則米西
開戦ニ際シ米艦隊糧食其他一切ヲ供給シ其資産ヲ
送ルモノナリト云フ

コレ市攻撃ノ計畫

未月曜日ニハ米兵艦隊線ニ連テ警ノ白米將校會
議ニ仍シハ現在カビテニアル米兵ヲ二隊ニ分ケ一隊ハ
陸ヨリ進軍シ一隊ハ海面ヨリコレホク等ノ小汽
船ヲ使用シテコレラテ附近ニ上陸セシ艦隊ニ當リ
コレ市ノ海岸砲台破壊ノ目的ヲ以テ旗艦ハ先ノ海岸
砲台ノ彈着以外ニ止リ砲撃ヲ監視シ他、單縱陣
ヲ制リ旗艦ノ周圍ヲ圍リ砲撃ヲ云フ然レバニヤ、

河内北方に砲撃せしむる意を云ふ
 此時砲艦一艘はゴキド島の附近に流れて居り
 スピットウ湾内に於ける独艦ノ暴動
 カビテニル 叛徒ハスピットウ湾内叛徒為ナニ少蒸汽
 船ニ面シ糧食糧菜ヲ搭載シ輸送シタルニコスピットウ
 湾内ニ独艦アリテ一名及人数不分明貨物ノ陸揚ヲ
 防禦ヤリ叛徒大ニ怒リ至急米旗艦ニ之ヲ訴フ
 米旗艦ハ忽チニコラレーコンゴルドニ出テ派シ獨艦ト
 断判ノ末スピットウ湾外ニ退去ヲ命ジタリ
 之レガ為メ米艦隊ト獨艦トノ感情大ニ粗害セシメ
 ニ付米艦隊長會議ヲ開ケリ
 此會議模様ヲ窺フニ獨艦ヲ當リテ湾内ニ止マラ
 シメザルニ決議セラルル如シト云フ

右ハ三井物産會社員小林正直ノ談話ニ據リ戰況記
 事主任吉原ノ記セル處ニ係リ報告ハ先九回ニ記セザル
 事項アルヲ以テ追加報告ス

明治三十五年七月十四日 馬尼刺

秋津洲艦長齋藤 貞良

海軍大臣侯爵西郷從道殿

